

ふれあい情報

2025年1月7日(火) 第391号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 野田那智子
 ■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11



日本退職者連合
HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



冒頭、挨拶をする山井和則厚生労働部門長(衆議院第1会館会議室)

日本退職者連合は、第28回定期総会で確認をした「2024年度政策・制度要求」を関係政党へ要請してきました。その内容を踏まえて、立憲民主党会派の厚生労働部門会議から、「税制改正・政策・予算要望」について、日本退職者連合からヒアリングをしたいとの要請があり、12月4日(水) 8:15より開催されました。

冒頭、山井和則(衆院議員)厚生労働部門長から、①退職者連合の声をしっかりと聞いて委員会でも議論していく②当面の間は、紙の健康保険証を新規発行できる復活法案を出していきたい。との挨拶がありました。



挨拶をする人見会長

その後、各項目について岩崎副事務局長より説明を行い、出席議員との意見交換を行い、ヒアリング内容を共有して終了しました。

2025年度 税制改正・政策・予算要望 厚生労働部門会議へ意見反映の ヒアリングを実施

退職者連合は、立憲民主・社民・無所属会派の厚生労働部門会議に対して、「2025年度の税制改革・政策・予算」の要求内容を要請してきました。また、諸課題についての意見交換を行いました。

ヒアリングで

要請した内容

税制改正要望

1. 個人所得税

2. 法人税

3. 消費税

4. 国際連帯税

5. 地方税

政策・予算要望

1. 予算編成の健全化

① 適正な予算編成

② 防衛予算の適正化

2. 子ども子育て支援

3. 年金保険制度

4. 地域包括ケアネットワークの確立

5. 医療制度

① 提供体制の整備

② 在宅医療基盤の整備・拡充

③ 高齢医療制度における自己負担の在り方の再検討

6. 介護保険制度

① 介護労働者の処遇改善

② 応能負担

7. 貧困・低所得者対策

① 物価高騰対策

② 低所得高齢単身女性問題

8. 地域公共交通を軸とする移動確保の充実

9. 社会保障としての住宅

10. マイナ保険証への対応

内閣府特命担当大臣及び法務大臣宛て

「選択的夫婦別姓の早期実現を求める」

団体署名を取り組んでいます

日本退職者連合会は、2024年度活動方針で選択的夫婦別姓の導入実現を政府に求めていくことを確認してきました。その取り組みのひとつとして、「選択的夫婦別姓の早期実現を求める団体署名」を取り組んでいます。

経過

夫婦が同じ姓を名乗るという慣行が定着したのは、1898年の明治民法で採用されました。それから130年経過しましたが、選択的夫婦別姓制度導入は国連の再三の勧告にも拘わらず実現していません。一方、1979年に国連で女性差別撤廃条約が採択されると「選択的夫婦別姓」制度が各国で導入されました。

日本と同じく夫婦同姓制度を採用していたドイツは1993年、タイは2005年、オーストラリアとスイスは2013年に民法改正を行い、選択的夫婦別姓を導入しました。主要国でこの制度がないのは日本だけとなりました。

国内の状況

2024年2月13日に経団連の十倉雅和会長は、国際的なビジネスの場で通用せず弊害

「選択的夫婦別姓」の導入をめぐる日本社会の現状



が出ていることや経済発展や幸せな生き方にも拘わるとして、選択的夫婦別姓をぜひ進めてほしいと政府に要請しました。

また、「家族の絆が壊れる」「子どもが可哀そう」などの反対意見もありますが、同性でも別姓でも選べる選択的な制度であるので、夫婦が同じ姓を名乗りたい場合は同じ姓を名乗り、別々の姓を名乗ることもできるようにしようという制度です。

日本退職者連合会は、このような経過と先の衆議院議員選挙において野党第一党の立憲民主党が法務委員会委員長のポストを獲得した背景を踏まえ、11月20日に開催した第2回幹事会において、団体署名の取り組みを確認しました。

取り組み期間は、通常国会の審議に間に合わせるよう2月10日としました。短期間となりますが、ご協力をよろしくお願ひします。

現役世代が少しでも生きやすい社会にするために、そして一人ひとりが尊重され性別に関係なく平等に遇されるよう「選択的夫婦別姓」実現のために、退職者連合加盟の産別・関連組織、地方退職者連合における単組・支部・地区・地協組織も含めて、団体署名へのご協力をよろしくお願ひ致します。

連合本部 2025新年交歓会を開催!

連合本部は、2025年1月6日(月)16:00より、「アトホテル日暮里ラングウッド」で、1000人規模の新年交歓会を開催しました。退職者連合も三役を中心に参加し、現役役員と意思疎通を図ってきました。



連合本部 芳野会長

芳野会長の挨拶をはじめとし来賓挨拶等が行われ、連合の取り組みや考えを組織内外に広く周知しました。とくに、今年行われる第27回参議院議員選挙における連合推薦候補の必勝に向けて、「心合わせ」「力合わせ」を再確認しました。